

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

市民のいのちを守る松江市政を 島根原発再稼働ゆるされない 市議団と予定候補が街頭から訴え



街頭から訴える樋野予定候補と舟木、たちばな両市議

11月11日中国電力は島根原発2号機について、12月7日に起動し再稼働することを発表しました。12月下旬に発送電を始め、来年1月上旬から営業運転再開を目指すとしてきました。

これを受けて、舟木健治、たちばなふみ両松江市議、樋野伸一市議予定候補は、島根原発2号機再稼働の中止を求めて、松江市内で街頭宣伝を行いました。

「私たち市議は、今年1月の能登半島地震で島根半島に住む市民からは大地震と原発の複合災害があったら「避難道が限られている、何かあればとても逃げられない」「屋内避難などできない。避難計画は机上の空論」と不安の声が寄せられているとし「市民の命を守る避難計画はできていない。また同じ沸騰水型の東北電力女川原発2号機は10月29日に再稼働したが、トラブルが発生し再度止めている。石川能登地震では想定していない活断層が運動して大地震がおきた。中国電力が運動しないとすると断層が運動するこ

とは否定できない。原子力規制庁も事故が起きないとは言えないと認めており、12月の再稼働など許されないと訴えました。

舟木市議は「自力で避難できない要支援者で、個別避難計画の対象者は7千人以上。5カ年計画で作成するとされておき今年2年目だ。医療機関、高齢者施設からも計画通りに避難できるとは思えない」との声がある。災害時に避難などできない。再稼働すべきでない」と訴えました。

樋野予定候補は、「放射線技師として、福島事故後、福島に出かけて調査しており先般12回目の訪問を行った。原発災害を二度と起こさないためにも再稼働は許されない」と訴えました。

島根原発2号機の再稼働やめて 原発ゼロをめざす会が抗議集会

原発ゼロをめざす島根の会（以下ゼロの会）は、11日、県庁前広場で「島根原発2号機の再稼働はやめて！」と抗議のスタンディングを行いました。参加者スピーチでは鹿島町在住の方が「町内の病院に勤務している人から、患者さんが『私にはもう長く生きた。原発で事故があったら若いあなたたちは逃げなさい。私にはもう逃げんか』と言われた」と涙ながらに話されたこと忘れられない。町内に避難が困難な人が大勢いる」と訴えました。

ゼロの会は、中電が原発を起動させると発表した12月7日の、13時半から、松江テルサ横広場で抗議集会を行う予定にしています。



市民と共に歩んで・・・ 命の平等を求めて 市議予定候補 樋野 伸一

私は松江生協病院の診療放射線技師 41年頑張ってきましたが昨年12月に退職しました。この度松江市議選に立候補を決意した理由は現役時代に経験した助ける命が救えなかつた経験からです。

精密な検査や治療が必要で入院されます。基本的に病院は健康保険が利用出来窓口負担も安く抑えられますが、様々な理由で健康保険が無い方も来られます。私は救急外来業務中心でしたので無保険の方を検査をした経験は多数ありますが、一番気の毒だった事例は25年位前、現役世代40代後半の男性の事例です。腹部の痛みを我慢しようというもなくなり病院に搬送されCT検査をした所末期の胃がんが

発見され全身に転移している状況で手の施しようがない状態だったのです。

結局入院後一週間位で亡くなりました。失職し働けず健康保険料が払えなくなり無保険の状態でがんが発見されるという一番悪い結果になりました。助ける事が出来た命を救えない。社会の闇を見ました。議員を決断した理由の原点です。

なぜ助けられなかったのかを病院は検証し事例を学び、現在はお金が無くても受診できる「無料定額診療」を行っています。格差で貧困が広がってきている現状。この命の問題を市政に届けられるよう頑張っていきます。

松江市議会11月定例会 日程のおしらせ

月	日	曜	会議名
11	26	火	本会議 (提案説明)
12	2	月	一般質問 (会派代表)
	3	火	一般質問 (個人質問)
	4	水	一般質問 (個人質問)、委員会付託
	5	木	総務委員会、予算分科会
	6	金	教育民生委員会、予算分科会
	9	月	経済委員会、予算分科会 建設環境委員会 (現地視察)
	10	火	建設環境委員会、予算分科会
	13	金	予算委員会 (報告、討論、採決)
	18	水	本会議 (委員長報告、討論・採決)

松江市議会11月定例会は、11月26日から12月18日の日程で開かれます。一般質問は12月2日(月)から4日の3日間です。ぜひ傍聴にお出かけください。

山陰ケーブルテレビやユーチューブ公式チャンネルでも中継もあります。ぜひごらんください。